

平成 25 年 6 月 22 日

広 野 町

第 3 2 回原子力損害賠償紛争審査会 説明資料

1 広野町の原子力災害の影響と現状

- ・ 広野町は町内全域が旧緊急時避難準備区域
- ・ 広野工業団地企業（15社）の操業停止
→平成25年6月現在14社が操業
- ・ 農業生産
→平成23年産米の作付けは緊急時避難準備区域指定により作付制限
→平成24年産米の作付けは放射性セシウムの影響を検証するため自粛
→平成25年産米の作付け再開 110戸 約110ha
- ・ 町内医療機関等の再開状況

種 別	震災前	震災後 (H25. 6. 17 現在)
病院・診療所	3	2
薬 局	2	1
歯科診療所	2	0

- ・ 商業施設の再開状況
→町内唯一のスーパーは閉鎖。生鮮食料品・日用品を扱う店は数店に留まっており、多くをいわき市へ依存している。
- ・ J R 常磐線の運行本数の減少

広野駅発着本数

	震災前	震災後 (H25. 6. 17 現在)
上り	19本 (うち特急2本)	11本
下り	20本 (うち特急3本)	12本

- ・ 除染進捗率 (平成25年6月12日現在)
一般住宅等97%、生活圏から20m範囲の森林92%、農地93%

2 町民の避難の現状 (平成25年6月17日現在)

① 広野町	1, 036人
② 県内 (広野町を除く)	3, 605人
(うちいわき市)	3, 469人
③ 県外	528人
④ 不明	24人
合 計	5, 193人

3 町民の住宅の状況 (平成25年6月17日現在)

① 応急仮設住宅入居者	1, 511人
② 借上住宅入居者	1, 869人